

いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話フォーラム

川であそび、川にまなび、川と暮らす

～未来の日常を描く。公共空間を舞台にした新しい時代の風景づくり～

ONE RIVER

事務局長・プロジェクトマネージャー

岩ヶ谷 充



川があることで生まれる豊かな暮らし









06.06.Sat



08.15.Sat



09.17.Thu



09.24.Thu



10.18.Sun



09.05.Sat



06.06.Sat



09.20.Sun

新しい日常に会いに行こう
one-river.jp



10.01.Thu



愛知県岡崎市

流域的視点から考える。このまちにとって大切なこと

Home River

愛知県岡崎市

乙川（矢作川水系）

流域面積：258 km²（岡崎市面積：387.2 km²）

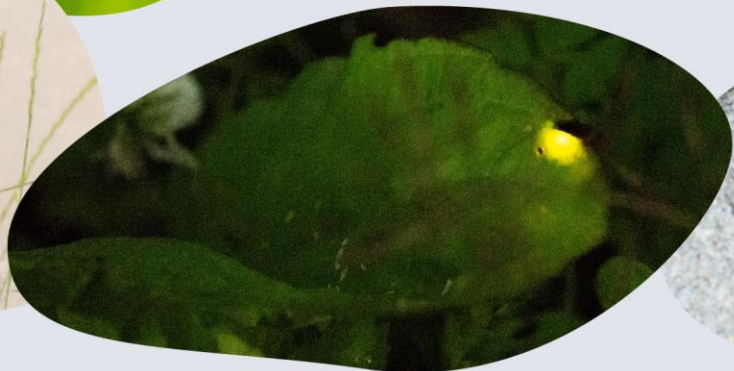
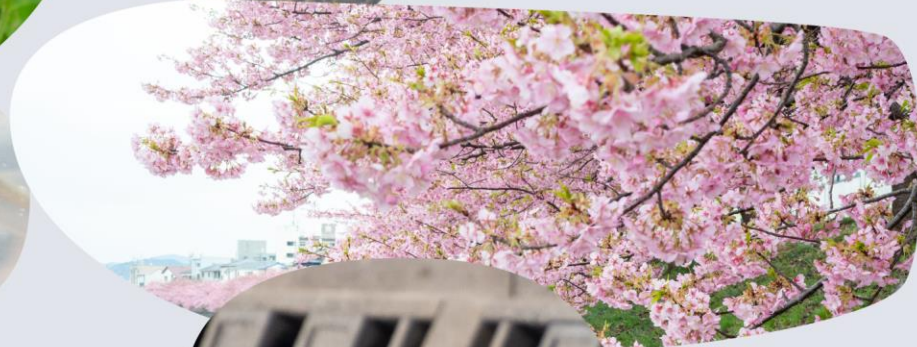
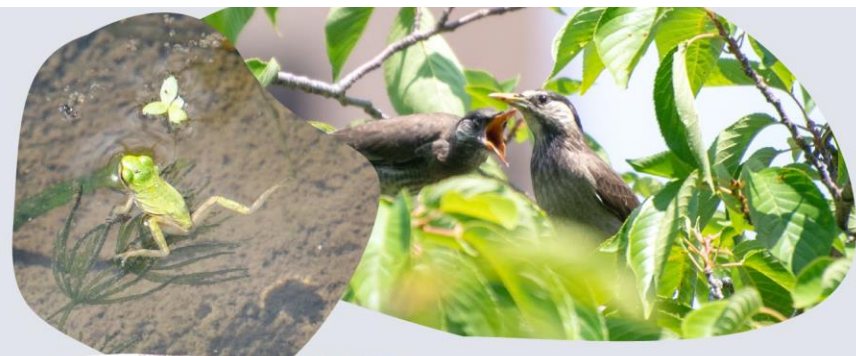
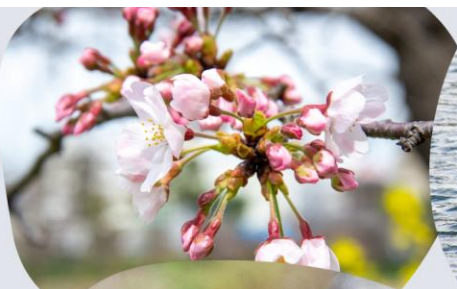
河川延長：34 km

2015年～国土交通省「かわまちづくり支援制度」に登録
そこから6年間にわたって社会実験プロジェクトを展開



岡崎市と額田町が合併（2006年）したことにより
乙川流域がすべて岡崎市域に

この場所にはいろいろな生き物が生息しているということ



乙川を介して様々な産業と結びついているということ



この場所は乙川を通じて上流部の山や森とつながっているということ





乙川に生まれる物語

「乙川らしさ」が自然と生まれる場所を目指して



伊賀川

乙川

名鉄東岡崎駅

JR岡崎駅

山網川

録地川

勇川

夏山川

倉川

乙女川

雨山川

龍泉寺川

「乙川らしさ」が生まれる場所を目指して発足された
乙川が大好きな市民による任意グループ

ONE RIVER

one-river.jp

100年先につながる乙川の日常を描く

- 風景 | 乙川が誰でも自由に使える場所となり、この場所から100年先の未来の日常が
生み出されている。
- 活用 | この場所（乙川）だからできる使い方の発明が連鎖し、そこから場所の価値が
増幅するような使い方が自然に生まれている。
- 暮らし | 地域材や流域資源等の、乙川を介して得られる自然の恵みを大切にした、文脈を
意識した無理のない「乙川のライフスタイル」が確立している。
- 繋がり | 乙川流域圏で行われる、様々なヒト、コト、モノとつながりをもち、部分ではなく
全体が最適になる上下流の関係性が模索されている。
- 学び | 知ることの喜び、見えないものを見る喜びを大切に、乙川に眠る未来につなげたい価値
を発掘し、それらが発信されている。

収益事業

活動の基盤をつくる

大切にする価値・資源を発信しながら、事業の収益化に重点を置いた ONE RIVERの活動の基盤となる事業。

- Let it Camp
- (仮称) 乙川流域ツアー企画
- オフィシャルグッズ販売



啓発事業

場所の価値・資源を捉える

大切にする価値・資源の啓発に重点をおき、活動への協力者（パートナー）を増やすための事業。

- opening event 川びらき
- summer event 川あそび
- autumn event 川ぐらし
- おとがわりバークリーン



発信事業

つなげたい価値を発信する

大切にする価値・資源の発信に重点をおき、各種活動への参加者（ファン）を増やすための事業。

- ウェブサイト (one-river.jp)
- 各種SNS
(Facebook、instagram、LINE)
- その他発行物
(パンフレット、カード、OTONOTO)



渉外事業

活動の関わりしろをつくる

団体の活動への理解者（サポーター）を増やし、活動の幅や波及効果を生み出すための事業。

- 企画サポート
- 企業研修
- 講演、執筆、視察対応など





かわまちづくりの新たなステージ
乙川に生まれるONE RIVERという現象



自分ごとになれる場所がある



公益性の発見と公共性の獲得



この場所と私の物語





乙川らしさが自然と生まれる場所をめざして